

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス筑後教室			
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～	令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～	令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・柳沢運動プログラムを用いた運動遊び・静かな活動	・運動遊びにて、運動の楽しさや体の使い方を学ぶ ・静かな活動にて、クールダウンの時間や動から静への切り替えをおこなうことを学ぶ	・運動遊び強化への動画研修 ・職員個々のレベルアップ、メニューの内容決めのアレンジ、創造性強化
2	・長期利用の際には、イベントにて体験活動ができるようなプログラムの提供	・季節に合ったイベントの提供（プール、クリスマス等） ・他教室との合同イベント（運動会、修学旅行）	・近場の教室との関りでなく、様々な教室との関り ・遠方への外出も検討（児童が飽きないイベント計画）
3	・教育部会への参加	・他施設との交流をもち、療育内容の向上に繋がる ・情報交換 ・特定の職員が参加するのではなく、順番違う職員が参加するスキルアップにも繋がる	・部会のみでの関りでなく、交流機会を増やすことでより個々のスキルアップに繋がる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運動遊びの実施時間	・平日だと下校時間に応じて、取り組み時間が短くなる児童でてきてしまう ・集団内容をおこなった際の時間配分 ・静かな活動の時間が短縮してしまう場合も	・主としておこなう職員の能力向上 ・サポートの職員が内容の把握
2	・活動に応じてのスペースの確保	・スペースの共有の仕方 ・下校時間によって来所する児童の数も違うため、徐々にスペースが限られてしまう場合も	・児童同士が仲良く共有できるようにサポートをおこなう ・状況によってスペースの使い方を変更していく
3	・保護者や他施設との交流の機会	・保護者を含んでのイベントの実施ができていない ・同施設の他教室との関りはあるが、同地区施設との児童との関りが無い	・今後ミーティングにて、どのような内容であれば交流ができるのか検討をしていきたい